

# 「寿柱立万歳」上演年表

西曆	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九一五	大正4	10/23~	御霊文楽座	仮名手本忠臣蔵	道行恋の初旅（南部・綴・越見・鶴尾・源路  寛治郎・叶・勝市・団六・友之助・小綱）。	万才（栄三）、才蔵（文五郎）。
一九三〇	昭和5	1/1~	四ツ橋文楽座	御祝儀 寿式三番叟 引抜き柱立万歳	※相生/島・越名・源路・辰/長子/文  勝市・芳之助・友之助・友造・友平・綱右衛門）。	万歳（栄三）、才蔵（文五郎）。
一九三二	昭和6	7/1・2	京都南座	寿式三番叟 引抜き柱立万歳	※卅四日間（『文楽興行記録昭和篇』）。	万歳（栄三）、才蔵（文五郎）。
一九三五	昭和10	1/2~20	四ツ橋文楽座	御代の春寿万歳	（万歳―南部・才三―小春・鏡/長尾・陸路/播路・駒尾/隅栄・町/貴鳳  吉弥・重造・友衛門・吉左/喜代之助・叶太郎/友作・八造/団二郎・友駒/綱治）。	太夫（扇太郎）、才蔵（紋十郎）。
一九三九	昭和14	1/1~	四ツ橋文楽座	寿柱立万歳 引ぬき団子売の段	※千種楽は『文楽興行記録昭和篇』に拠る。	万歳（玉幸）、才三（紋十郎）。
一九三九	昭和14	2/4・5	京都南座	（寿式三番叟 引抜き柱立万歳）	（和泉・伊達・文・辰・松島  吉左・新太郎・清友・団作・広弥）。	万歳（玉幸）、才三（紋十郎）。

「寿柱立万歳」(上演年表)

「寿柱立万歳」(上演年表)

西曆	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九三九	昭和14	2/11~15	神戸 松竹劇場	(寿式三番叟 引抜柱立万歳)	※『松竹百年史』に拠る。	(不明)
一九三九	昭和14	3/24~26	東京 明治座	(寿柱立万歳)	(万歳―相生・才三―文・ツレ 播路・竹・隅若―吉左・団六・吉季・団作・吉蔵・寛市)。	万歳(玉幸)、才三(紋十郎)。
一九四一	昭和16	1/1~26	四ツ橋文楽座	寿柱立万歳	(太夫―和泉・才三―長尾/伊勢・ツレ辰/千駒・常子/隅若・松島/土佐尾・富―叶・友平・叶太郎/友作・友十郎/新太郎・吉蔵/広弥・仙松/団作/竜市)。 ※千種楽は『文楽興行記録昭和篇』に拠る。	太夫(光之助)、才三(文作)。
一九四一	昭和16	12/9~13	東京 新橋演舞場	寿柱立万歳	(太夫―南部/伊達・才三―長尾/播路・ツレ常子/宮・松島・長尾/播路―勝平・重造・八造・団伊三・清友/一郎右衛門・団作・仙松)。	太夫(光之助)、才三(文作)。
一九四六	昭和21	4/28~5/19	四ツ橋文楽座	寿柱立万歳	(太夫―浜・才三―つばめ・富・八十―寛治郎・吉三郎・錦糸・仙松)。 ※日程は『文楽興行記録昭和篇』に拠る。	太夫(光造)、才三(栄三郎)。
一九五〇	昭和25	1/7~10	松坂屋会館 (組合派)	寿柱立万歳	(七五三・つばめ・英・呂賀―叶太郎・市治郎・寛弘・勝太郎・猿二郎)。 ※大阪第二回自主公演。	太夫(玉徳)、才三(紋昇)。
一九五二	昭和27	1/2~23	四ツ橋文楽座 (因会)	寿柱立万歳	(太夫―静・才三―長子・ツレ織部・相次・弘―八造・友十郎・新三郎・寛弘・清友)。 ※越名太夫改め五世竹本南部太夫・清二郎改め鶴沢藤蔵襲名披露。	太夫(文雀)、才三(玉五郎)。
一九五二	昭和27	2/13・14	四ツ橋文楽座 (因会)	(柱立万歳)	(太夫―静・才三―長子・弘―友十郎・清友・錦糸)。 ※第一回学生文楽教室。	太夫(文雀)、才三(玉五郎)。

△

「寿柱立万歳」(上演年表)

一九五四	昭和29	7/1~6	京都 南座 (因念)	寿柱立万歳	(太夫―雛・才三―南部・ツレ織部・十九・相子  豊助・友十郎・清友・新三郎・清好・喜八郎)。	大夫(玉五郎)、才三(玉男)。
一九六六	昭和41	1/7~16	東京 三越劇場	寿柱立万歳	(太夫―十九・才蔵―伊達路・ツレ相子・津弥・松香・小春  錦糸・燕三・団二郎・清治・寛弘・勝之輔)。 ※豊竹若大夫・鶴沢寛治の叙勲を祝って。	太夫(清十郎)、才蔵(玉五郎)。
一九七七	昭和52	2/5~19	東京 国立劇場 小劇場	伊賀越道中双六	藤川新関の段 引抜き寿柱立万歳(助平―咲・志津馬―英・お袖―津駒・ツレ三輪  叶太郎・団二郎・弥三郎・燕太郎)。 ※鶴沢叶太郎休演、竹沢団二郎が繰り上がり、二枚目を鶴沢清介が代演。	万歳鶴太夫(文昇)、才造亀吉(玉松)。
一九七八	昭和53	1/2~23	朝日座	寿柱立万歳 引抜き団子売	(太夫―嶋・才三―相生・ツレ津駒・津国・南司・文字栄  勝平・勝司・清介・浅造・弥三郎)。 浅造・弥三郎)。	太夫(小玉)、才三(二暢)。
一九八五	昭和60	4/7~22	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―英・才三―緑・ツレ津駒・貴・三輪・千歳  津梅  清友・浅造・弥三郎・八介・団治・清二郎)。 ※国立文楽劇場開場一周年記念・七世竹本住大夫襲名披露。	太夫(文吾)、才三(紋寿)。
一九八五	昭和60	5/11~26	東京 国立劇場 小劇場	寿柱立万歳	(太夫―緑・才三―貴・ツレ三輪・千歳  津梅・南司  文字栄  清友・浅造・八介・団治・清二郎)。 ※国立文楽劇場開場一周年記念・七世竹本住大夫襲名披露。	太夫(文吾)、才三(紋寿)。
一九九〇	平成2	4/6~24	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―緑・才三―貴・ツレ津梅・呂勢  清介・八介・清二郎・清太郎)。 ※国際花と緑の博覧会協賛。	太夫(勘寿)、才三(紋寿)。
一九九五	平成7	1/3~25	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―松香・才三―津駒・ツレ南都・呂勢・新・咲甫  八介・団治・浅造・喜一郎・団市・清志郎)。	太夫(清之助)、才三(簀太郎)。

「寿柱立万歳」(上演年表)

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
一九九六	平成8	6/5~25	国立文楽劇場	寿柱立万歳	【5~14日・午前の部】(太夫―松香・才三―津国・ツレ文字久・文字栄・始    燕二郎・浅造・団吾・団市)。 ※鶴沢浅造十二日~十四日休演、野沢喜一朗が代演。 【5~14日・午後の部】(太夫―三輪・才三―南都・ツレ呂勢・新・咲甫   錦弥・ 清太郎・喜一朗・清志郎)。 【15~25日・午前の部】(太夫―貴・才三―文字久・ツレ呂勢・新・咲甫   弥三 郎・清太郎・喜一朗・清志郎)。 【15~25日・午後の部】(太夫―津駒・才三―千歳・ツレ南都・文字栄・始   八 介・浅造・団吾・団市)。 ※鶴沢浅造休演、野沢喜一朗が代演。 ※第13回文楽鑑賞教室、'96国際演劇月参加。	太夫(勘寿)、才三 (文吾)。
一九九八	平成10	4/4~26	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―緑・才三―三輪・ツレ南都・文字栄・新・始・咲甫   喜左衛門 ・八介・清太郎・喜一朗・団吾・清志郎)。 ※鶴沢清太郎休演。	太夫(玉英)、才三 (清之助)。
二〇〇二	平成14	1/3~25	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―千歳・才三―津国・ツレ文字栄・新・咲甫・つばさ/相子   団七・弥 三郎・清太郎・団吾・清道)。	太夫(勘寿)、才三 (二暢)。
二〇〇五	平成17	8/27~28	愛媛 内子座	寿柱立万歳	(太夫―文字久・才三―咲甫・ツレ靖   宗助・清道・清丈)。	太夫(勘緑)、才三 (文司)。
二〇〇六	平成18	4/1~23	国立文楽劇場	寿柱立万歳	(太夫―英・才三―三輪・ツレ始・貴・睦・呂茂/芳穂・靖/希   団七・弥三 郎・団吾・龍爾・寛太郎)。	太夫(勘弥)、才三 (紋豊)。

平成18年5月以降の国立劇場・国立文楽劇場での公演記録

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
二〇〇六	平成18	5/12~28	東京国立劇場 小劇場	寿柱立万歳	(太夫)三輪・才三(新・相子)芳穂(12/20日) / 呂茂(21/28日) / 団七・弥三郎(休演)・団吾・龍爾・寛太郎。 ※「芳穂」の芳は異体字。	太夫(勘弥)、才三(紋豊)
二〇〇七	平成19	6/6~21	国立文楽劇場	寿柱立万歳	【6/13日午前の部】(太夫)新・才三(つばさ・睦・呂茂・靖) / 清楯・龍聿・龍爾・清公。 ※「芳穂」の芳は異体字。	太夫(勘市)、才三(幸助)
二〇〇七	平成19	12/4~16	東京国立劇場 小劇場	寿柱立万歳	【1/4/21日午前の部】(太夫)文字栄・才三(相子・芳穂・希) / 清楯・清丈・龍爾・寛太郎。 ※「芳穂」の芳は異体字。	太夫(玉佳)、才三(和右)
二〇〇七	平成19	12/4~16	東京国立劇場 小劇場	寿柱立万歳	【1/4/21日午後の部】(太夫)貴・才三(睦・つばさ・呂茂・靖) / 清志郎・龍聿・龍爾・清公。 ※「芳穂」の芳は異体字。	太夫(紋臣)、才三(襄一郎)
二〇一三	平成25	9/7~23	東京国立劇場 小劇場	伊賀越道中双六 藤川新関の段 引抜き万歳 寿柱立万歳	【4/10日午後の部】(太夫)睦・才三(つばさ・呂茂・靖) / 清志郎・龍爾・寛太郎。 ※「芳穂」の芳は異体字。 ※吉田和右休演につき、才三を吉田清五郎が代演。 ※第3回文楽鑑賞教室。 14日は社会人のための文楽鑑賞教室。	太夫(勘市)、才三(一輔)
二〇一三	平成25	9/7~23	東京国立劇場 小劇場	伊賀越道中双六 藤川新関の段 引抜き万歳 寿柱立万歳	【4/10日午後の部】(太夫)睦・才三(つばさ・呂茂・靖) / 清志郎・龍爾・寛太郎。 ※「芳穂」の芳は異体字。 ※吉田和右休演につき、才三を吉田清五郎が代演。 ※第3回文楽鑑賞教室。 14日は社会人のための文楽鑑賞教室。	太夫(勘市)、才三(一輔)

西暦	年	月	劇場	上演外題	場割・備考	主な人形役割
二〇一七	平成29	11/2～24	国立文楽劇場	伊賀越道中 藤川新関の段 引抜き 寿柱立万歳	（助平一三輪・志津馬一始・お袖一咲甫・ツレ。咲寿・亘一輔） ※「清丈」の文は異体字。 ※平成25年度（第68回）文化庁芸術祭主催。 ※竹本義太夫300回忌。	太夫（勘市）、才三（一輔）
二〇一七	平成29	4/8～30	国立文楽劇場	寿柱立万歳	（太夫一三輪・才三一津国・南都・小住（8月18日） 咲寿（20日）・清五郎（30日） 允・団吾） 文字栄  清五郎・龍爾・錦吾・清	太夫（紋臣）、才三（清五郎）
二〇一七	平成29	5/13～29	東京国立劇場 小劇場	寿柱立万歳	（太夫一三輪・才三一津国・南都・小住（13月21日） 吾・団吾） ※「清丈」の文は異体字。	太夫（紋臣）、才三（清五郎）
二〇一七	平成29	6/24～25	国立文楽劇場	寿柱立万歳	（太夫一睦・才三一靖・小住  寛太郎・錦吾・燕二郎・清允） ※国立文楽劇場第17回文楽既成者研修発表会。	太夫（玉誉）、才三（紋臣）
二〇一七	平成29	6/29～30	東京国立劇場 小劇場	寿柱立万歳	（太夫一睦・才三一靖・小住  寛太郎・錦吾・燕二郎・清允） ※国立劇場第5回文楽既成者研修発表会。	太夫（寛太郎）、才三（紋臣）
二〇二二	令和4	9/3～20	東京国立劇場 小劇場	寿柱立万歳	（太夫一三輪・才三一希・ツレ。薫・文字栄  団七・寛太郎・燕二郎・清方） ※初代国立劇場さよなら公演。	太夫（文哉）、才三（箕一郎）